

広報 きたかた

10月号

2017

No.142



第1主体部



喜多方市公式
facebook





女性社員の皆さん

女性活躍推進法が施行されるなど、女性を含めた働き方が見直されています。

今回は、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスなどに取り組む荒川産業株式会社の星さん、二瓶さん、鱒淵さんに話を聞きました。

荒川産業株式会社(再生資源業他)

社員数 103人(男性80人 女性23人) 女性管理職 4人

平成29年に創業125周年を迎えた荒川産業株式会社。現在は、再生資源業・廃棄物処理業を始めとして建設業やコンビニエンスストアの経営など多岐にわたっている。

女性社員は103人のうち23人。改善提案制度では、女性の視点を生かした多くの提案が出されるなど、女性の活躍が進んでいる。

仕事の内容を聞かせてください。

鱒淵さん お得意様を中心に営業をしていますが、事務所で人が足りない場合は事務の仕事も手伝います。また、小学生向けの社会科見学などの案内係も務めています。

営業職と聞くと大変と思われませんが、同僚と協力して、効率よく取り組んでいます。

星さん 「成長確認シート」を使用してキャリアプランを設定し、事業部長面談を実施しています。また、性別にとらわれない昇進、昇格や研修などを実施しており、現在は女性の工場長や執行役員もいます。

二瓶さん より女性の発言力が増えて活発になったと思います。昨年は業務に役立つテーマを決めて、女子会を開催しました。例えば、美容

師を講師に招いてメイクの講習会を実施しましたが、これはお客様に少しでも良いイメージを持っていただくのと考えたものです。課題としては、制度などの情報を確実に届けることです。当社では子どもの看護休暇も就業規則に記載していますが、社員に浸透するには時間が掛かりました。

女性の視点を生かした取り組みはありませんか。

二瓶さん 当社では改善提案制度があり、女性の視点を生かした提案が多いです。例えば、女性も作業着を着ていますが、受け付けなどでは少し雰囲気暗いとの意見がありました。そこで改善提案制度を活用して女性らしい作業着の提案が採用され、見た目も明るくなりました。

行政に対してどのような支援を求めますか。

二瓶さん 具体的にどのような取り組みが必要か、他社ではどのような取り組みをしているか、情報共有の場があれば良いと思います。自分

の会社だけ見ていると、これが当たり前と感じてしまっているので、第三者の意見をもらうような機会があれば良いと思います。

今後の抱負について教えてください。

星さん 男性・女性ともに仕事と生活を大切にして、この会社で働いて良かったと言ってもらえる会社になりたいと考えています。

鱒淵さん 営業は男性というイメージが強いですが、女性だからこそ話しやすい側面もあります。女性ならではの親しみやすさを生かした仕事を心掛けたいです。そして、この経験を皆さんにも伝えていくことが大切だと思っています。

荒川産業株式会社の取材内容は市のホームページにも掲載しています。

☎ 企画調整課 企画調整係 (24)5209